

優れた客観的分析とグローバル・プロキシの議決権行使提案について

プロキシによる議決権行使は、複雑になると同時にますます注目されるものとなりました。受託者は、利害衝突や議決権行使記録と方針の開示に関する新しい規制を理解すると同時に、より複雑な新しい問題について決断しなくてはなりません。

詳しい情報に基づき議決権を行使するためには従来の方法は十分ではありません。毎年、何千何百という大量のプロキシに対して正しい判断をするための十分な社内リソースを、ほとんどの機関は持っていません。立証されていないコーポレート・ガバナンス理論にただ追従するだけの従来のコンサルティングサービスは、複雑化していくプロキシに対し、投資リスク軽減を目的とした議決権行使に必要な金融・経済諸問題に対する優れたケース別の分析を提供しているとは言えません。

グラス・ルイス・アンド・カンパニー(Glass Lewis & Co.)は、この変化した状況に対応する徹底したプロキシリサーチと、議決権行使のアドバイスを提供します。

当社のプロキシペーパーは、50カ国以上の企業が発行する大量のプロキシの全議案に対して、個々の状況・背景を考慮し、客観性のある分析と議決権行使のアドバイスをを行うことにより、投資家のリスクを軽減し、利益を増やす機能を発揮しています。これらの専門的分析結果は、当社のカスタマイズ可能な研究結果配信プラットフォームから、あるいは議決権行使顧問サービスの一環として、ご利用になれます。

グラス・ルイス・アンド・カンパニー の取り扱い対象

当社は、以下の対象を含む、50カ国以上にある企業と投資信託会社のプロキシに対して、詳細な分析を提供、議決権行使に関する提言をしています。

- Russel 3000
- S&P 500, S&P MidCap 400 and S&P SmallCap 600
- Wilshire 5000
- MSCI EAFE + Canada Index
- MSCI World Index
- S&P TSX Composite Index
- S&P TOPIX 150(Japan)
- S&P Japan Midcap 100

当社をご希望に応じて、先進諸国や新興資本市場における企業分析を含めた、投資全般に関するサービスを提供します。

当社リサーチチームは、会計、経営、財務、米国法・国際法、その他当社のリサーチに関連する分野において修士・博士号を持つ、米国内外のアナリストで構成されています。リン・E・ターナー(Lynn E. Turner)が責任者を務めるこのチームは、米国、カナダ、欧州、アジア、新興市場諸国のプロキシにおける、M&A、株式付与型報酬制度、取締役会の取り組み、能力給や監査役の問題などを判断するのに最適の人材を揃えております。以上のプロキシに関する諸問題に対しては特に、当社は独自の優れた視点と資質を備えていると確信しています。

- **M&A(MERGERS AND ACQUISITIONS):** 当社のリサーチチームには、数十億ドル規模の合併吸収を扱った経験を持つ元投資銀行員や弁護士が含まれています。毎年、数百に及ぶ合併吸収取引の分析において、取引が投資家の皆さまの経済的利益につながるかどうかを判断するために、当社は以下の4点を精査します。

- (1) 取引を提案する取締役会の独立性は高いか。
- (2) 取引を行うために選択したプロセスは、最良の契約に結びついたか。
- (3) 公正意見書を提出した財務顧問の独立性は高いか。
この財務顧問は経済的、財政的に妥当な見解を述べたか。
- (4) 取引の価格は正当か。

- **株式付与型報酬制度(EQUITY-BASED COMPENSATION PLANS):** 当社は、株式付与型報酬制度を正当評価するため、学術研究に基づいた方法を採用しています。当社の評価方法は、株式付与型報酬制度が企業経費であり、また財務状況・営業成績・損益・人的資本マトリクスと比較し判断されるべきという原則に基づいています。この方法では、慎重に選択された同じような制度、および経済学文献が示すように、株主価値保護に必要な不可欠な絶対的限度によって、株式付与型報酬制度を比較研究します。

- **取締役会 (BOARDS OF DIRECTORS):** 取締役の選任に関する提案にあたって、当社のリサーチチームは取締役会の行為を精査し、株主価値(株主の利益)を保護し向上させる行為を取締役が実行したか確認します。また、各取締役の独立性と経験についても検証します。リサーチチームのメンバーのうち2人は上場企業の取締役であり、他の多くのメンバーは企業の役員、あるいは取締役会の相談役を務めた経験を持っています。

- **能力給(PAY FOR PERFORMANCE)**: 当社は、米国全企業における報酬額上位5人の役員報酬を評価する当社オリジナルの能力給モデルを使用し、役員の実績に基づき報酬の正当性を判断します。この分析に基づいて、議案として挙げられる報酬の問題に対し提言すると共に、報酬委員会の業績を評価します。
- **独立監査人(AUDITOR ISSUES)**: 確実な投資判断のためには、正確な企業財務諸表が必要です。当社リサーチ部門を率いるリン・F・ターナーは、米国証券取引委員会の元会計主任であり、現在は企業会計監視機関・常設顧問委員会のメンバーです。当社のリサーチスタッフには、ターナーの他にも大手会計事務所での職務経験をもつ会計士が12人以上含まれています。当社は財務諸表の透明性と、その企業が過去に財務諸表を訂正したことがあるかを精査します。当社は以上の要因を考慮して、監査委員会メンバーに助言し、独立監査人の承認に関して提言します。

グラス・ルイス・アンド・カンパニーは、機関投資家の皆さまのための会社です。当社は発行会社に対するコンサルティングサービスを行いません。

当社のエキスパートによる独立性の高い提案によって、受託者は自信を持って議決権を行使することができます。

グラス・ルイス・アンド・カンパニー独自のプロキシ分析

- 当社のリサーチは、中長期的に株主価値を向上させ、リスクを軽減するという観点から、機関投資家の議決権行使を補助するという役割を果たしています。このリサーチにおいて、その他の利害は考慮に入りません。
- 当社は、ケース・バイ・ケースの対応を常に重視しています。コーポレート・ガバナンスに関連する複雑な事項に関して、公平かつ合理的な判断を下すには、個々の状況・背景の把握が極めて重要だからです。当社は、企業のプロキシに対して“あらゆるケースに当てはまる解決法”を採用するのではなく、専門の学位を持つ有能なアナリストを揃えて個別の評価を行っています。
- 当社のリサーチスタッフの大半は、会計、ビジネス、法律、そして当社が行うリサーチに関係する分野の修士号を取得しています。さらに、グローバル・リサーチアナリストは、担当地域における法律とコーポレート・ガバナンスに関する専門知識を備えています。
- 当社はグローバルな機関投資家の皆さまのための会社です。当社は独立性を保つため、企業、CEO、取締役に対するコンサルティングサービスを行いません。したがって、当社のリサーチは公平なものです。

企業概要

グラス・ルイス・アンド・カンパニーは、総額8兆ドルもの資金を運用する機関に、投資のためのリサーチとプロキシに関するアドバイスを提供する、業界大手の企業です。当社は、世界中の企業7千社以上のビジネスリスク、法的リスク、経営リスク、財務諸表のリスクを特定し、機関投資家がさらに詳しい情報に基づいた投資や議決権行使ができるよう、情報を提供いたします。